

2026/9/9(水) 14:30~15:20

田尻町立中学校 (TM校)

取組み説明

1. 研究テーマの設定理由
2. 学校の具体的な取組について
3. 質疑応答

1. 研究テーマの設定理由

昨年度の小学校の研究テーマ
文章を正しく読み、
自分の思いや考えを表現できる
子どもの育成

昨年度の中学校の研究テーマ
集中して勉強する雰囲気大切に
にした「やる気の出る授業」
をめざして

自主学習ノート 家庭学習習慣

振り返り活動 テスト計画表

キュビナ

これまでの取組
を大切にしつつ

方向性を
揃えたい

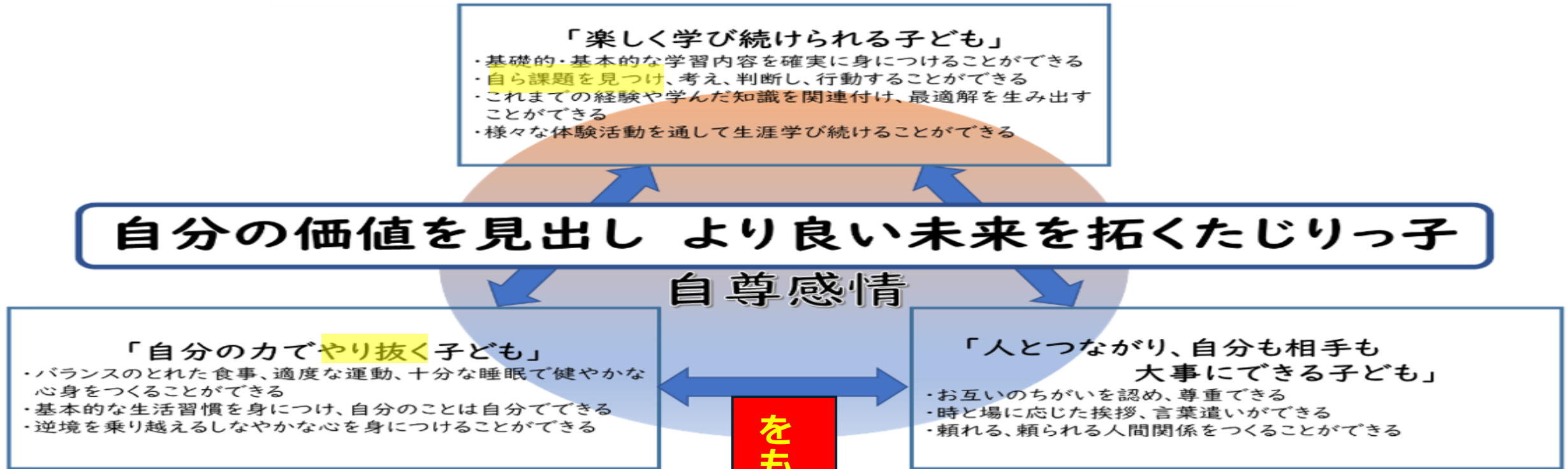
学力課題のある子どものリスト化
→朝学習、昼学習、放課後学習

説明文の長文読解 班活動

今年度の小中学校の研究テーマ
自分で課題を発見して、 粘り強く挑戦できる 子どもの育成
(=課題発見力) (=粘り強さ)

最近、〇〇力って言葉が多くて、ブレますよね。だから…

町立認定こども園、小学校、中学校がめざす子ども像



今年度の小中中学校の研究テーマ

自分で課題を発見して、 粘り強く挑戦できる 子どもの育成

(= 課題発見力) (=**粘り強さ**)

1. 研究テーマの設定理由

自分で課題を発見して、 粘り強く挑戦できる子どもの育成
(=課題発見力) (=粘り強さ)

～「班活動」と「振り返り活動」の充実～

なぜだろう？

課題発見力とは？

やってみよう！

疑問や問い、課題(≠弱点)を発見できる力。

塾でも宿題が与えられることが多く、自分で課題を考え、
取り組む機会が少なくなっている。

A I (課題解決が得意)が発展し、これからの社会ではより
求められていく。

(参考) AIは課題解決が得意

今年の大学入学共通テスト、AIは9科目で満点...「苦手だった日本史や図形問題も克服」

2026/01/21 19:22

#生成AI

#ChatGPT

📁 保存して後で読む 🔗 シェアする

対話型AI（人工知能）サービス「チャットGPT」の大学入学共通テストの成績は9科目で満点——そんな実験結果をAIベンチャーのライフプロンプト（東京）が公表した。15科目について解答させ、得点率は96・9%だった。



同社は2023年から毎年、生成AIに問題を解かせている。今回はチャットGPTの最新モデルとグーグルの「ジェミニ」、AI新興企業アンソロピックの「クロード」の三つの生成AIに、問題文の画像を読ませるなどして実験した。

同社によると、三つともが、東京大の文系・理系の受験科目（1000点満点）でいずれも900点を超えた。チャットGPTは文系970点、理系968点で最も高かった。また、化学、情報Iなど9科目は満点だった。

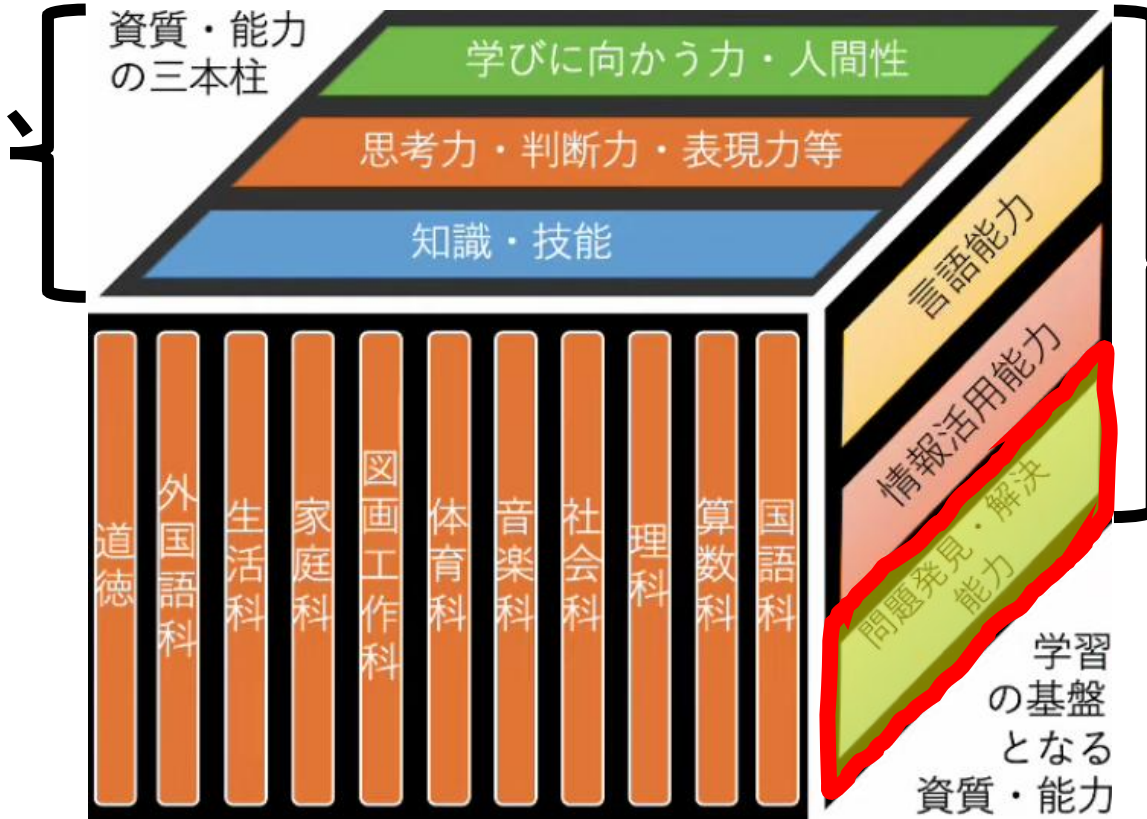
同社担当者は「昨年までは苦手としていた日本史や、数学の図形問題も克服しつつある」と

(参考) 学習指導要領でも位置付けられている

● 現行の学習指導要領では…

学習の**基盤**となる資質・能力として

目標を立て、
評価をする



あらゆる教科等に
共通した学習の基盤
→ **教科横断**的な視点で
育んでいく

● 次期学習指導要領(論点整理)でも…

総合の目標等において重視、各教科等の学習の課程として重視

(参考) PISA2022でも課題が見られた

●テスト

- ・ 数学的リテラシー → 1位
- ・ 科学的リテラシー → 1位
- ・ 読解力 → 2位

OECD加盟国
37か国中...

●アンケート

- ・ **自律学習を行う自信** → **34位**
(「自力で学校の勉強をこなす」「自分で学校の勉強をする予定を立てる」など)

(参考) PISA2025

●テスト

- ・ 数学的リテラシー → 1位
- ・ 科学的リテラシー → 1位
- ・ 読解力 → 1位

OECD加盟国

38

か国中...

●アンケート

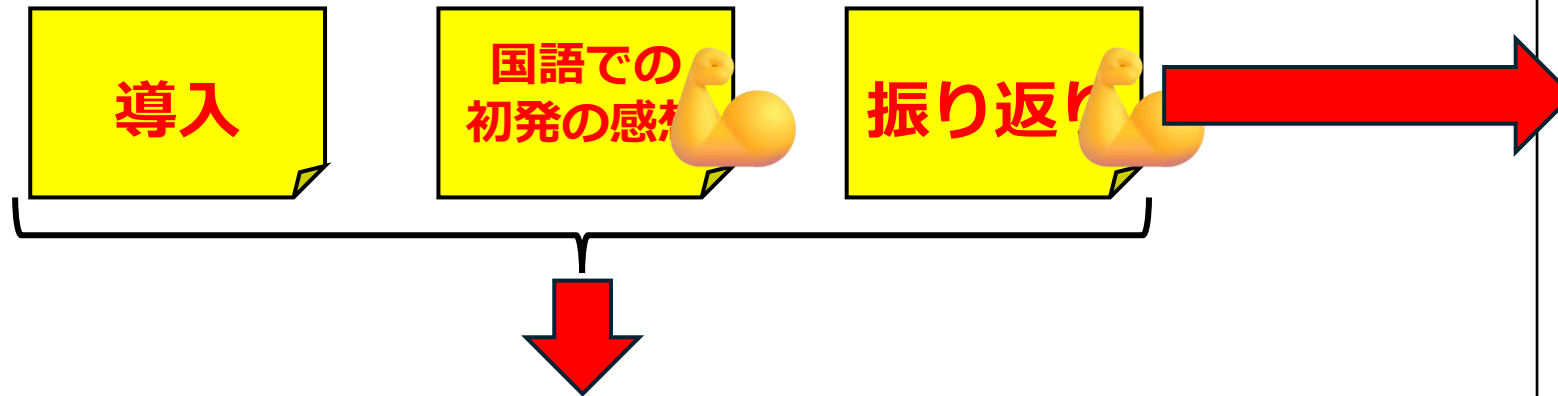
- ・ 自律学習を行う自信 → ? 位

(「自力で学校の勉強をこなす」「自力で学校の勉強をする予定を立てる」など)

日本 20.6%
OECD 37.3%

課題発見力を高めるビジョン

授業



日常的な一斉授業では、

教師が
めあて・課題を
与える

子どもと一緒に
めあて・課題を
立てる

総合では、

子どもが自分で
めあて・課題を
立てる

家庭学習

自主学习ノート
(小学校)

キュビナ など
(小中学校)

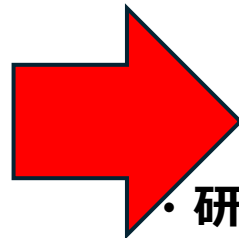
1. 研究テーマの設定理由

自分で課題を発見して、 粘り強く挑戦できる子どもの育成
(=課題発見力) (=粘り強さ) 町が設定

～「班活動」と「振り返り活動」の充実～学校が設定

を高めるために

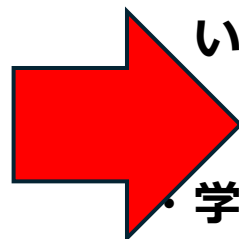
課題発見力



振り返り活動

- ・研修で、振り返り活動の校内の好事例を紹介
- ・「分かったこと」だけではなく、「なぜだろう？」
「やってみたい！」という振り返りをもっと価値づけ
ていこう！
- ・そもそも、「なぜだろう？」「やってみたい！」と
いう振り返りを引き出す授業をしていこう！

粘り強さ



班活動

- ・学力課題のある生徒も含めて

ギミックブラッシュアップシートの活用

	導入 (10)分	展開 (30)分	まとめ (10)分
学習活動	①問いとの出会い・仮説 「私たちはどのように音を発し、相手の耳に届けるか」を個人で考え、クラス全体で共有する。 ②ミニ実験計画 「問いを確かめるために、どのような実験が考えられるか」を班で話し合い、班長が発表する。	③音源 という語句を知る。 ④ヒント実験① 音を発する物の共通点を見つける。 →振動している。のど(声帯も)。 ⑤ヒント実験② 音が伝わっているとき、人々との間にあるもの(糸、針金、空気)も振動していることに気づく。 ⑥ヒント実験③(演示) 真空容器内のブザーは聞こえないことを確認する。	⑦振り返り 自分なりの問いに対する答え +その他
★工夫	①理科を日常生活と結びつける具体的な問いを投げかける。迫る！ ①Padlet で共有することによって、友達の見解をつないで深めていけたり、苦手な生徒も友達の見解を参考にして自分の意見を持てたりできる。 ②時間内であれば、実際にやってみてよいことを伝える。	④ギターやたいこ、スピーカーなどを用意する。共通点を見つけるために、教室内を立ち歩き、実際により多くの物の音を出す活動を入れる。 ⑤糸電話は、どのようなときに聞こえ、どのようなときに聞こえないかを実際に調べる活動を入れる。 ⑥宇宙を舞台とした SF の動画を用意し、学習してみて感じた違和感を聞いてみる。	⑦振り返りの視点を提示し、分かったことのみではなく、「なぜだろう？」「～を知りたい！」「～をやってみよう！」という気持ちも大事にする。 ⑦「自分なりの問いに対する答え」については、まずは自分で表現してみる。苦手な生徒のために、ヒントとしてキーワードを抜いた虫食い文を掲示しておく。
	☐ 空間 ☒ 教具 ☒ 活動	☒ 空間 ☒ 教具 ☒ 活動	☐ 空間 ☒ 教具 ☐ 活動
予想できる姿	急に無意識下にあったものを意識し、びっくりしたり、困ったりしている。	それぞれが問いに対する仮説を持ったうえで、様々な実物や実験を入れたので、積極的に取り組んでいる。	ヒントもあるので、悩みながらも粘り強く取り組んでいる。新たな疑問も生まれる。
感情イメージ			

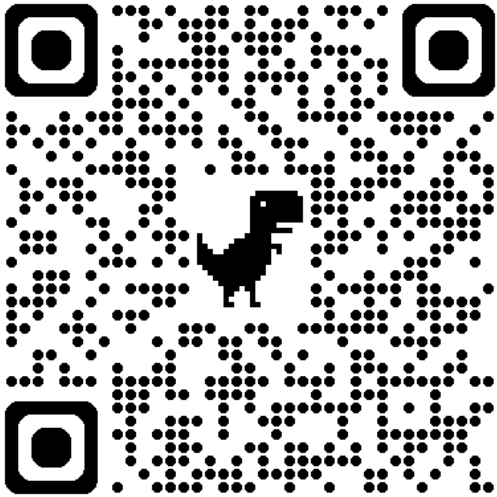
目的

「分かったこと」だけではなく、「なぜだろう？」「やってみたい！」も引き出すために、**子どもの感情を動かす仕掛け**を意識した授業づくり

学習活動よりも(授業を見たら分かるから)
工夫に重きを置きたい

生徒を想像しながら
授業づくりしてほしい

少し詳しく↓



2. 学校の具体的な取組について

年度初めの研修で伝えたこと

集中できる授業

- **授業規律**が成立している
- 生徒を集中させる流れのある組み立て
- 無駄な言葉を減らす → 授業のアウトラインができているのか

やる気のでる授業

- ▶ スモールステップを意識した向上心の起こる組み立て
- ▶ 題材(内容)そのものが生徒を引きつけるもの

班を生かした授業づくりが実現する

班活用の技術

振り返り

授業のアウトライン

授業規律

基礎問題の取り組み方

① 定期テストごとに

「受験までに必ず解けるようになってほしい問題」
を決める

② 全問正解ができるようにテスト前に取り組む

③ テストに臨む

基礎問題

◆班を活性化させる活用の仕方とは

- ・「教えあい」をどのように活性化させるのかにこだわる
⇒どんな工夫をしてしかけていくのか
- ・班員全員の答えをききたいと思える問を
- ・“教える”“教えられる”の関係をひっくり返す工夫を

◆今年取り組んでいくこと

①授業参観弟子入り制度

- ・2カ月に1回の参観をしてください。（1回はグループ内で）
- ・師匠からこだわるべきポイントを提示してもらってください。
- ・学期の終わりに師匠は評価をしてあげてください。

②学期に1回の授業研

第1回 「振り返りに意味がある授業とは」 :

先生

第2回

先生

ご清聴

ありがとうございました

